

[特集]

輝

地域から世界へ、
三重大学が見つめる未来。

CONTENTS

[View of This Issue]

総合力を発揮して
未来に向かって輝く道へ

- 理事・副学長 渡邊悌爾

01

[特集 学長・学部長座談会]

輝

地域から世界へ、
三重大学が見つめる未来。

- 学長 | 豊田長康
- 人文学部長 | 井口 靖
- 教育学部長 | 丹保健一
- 医学部長 | 鎮西康雄
- 工学部長 | 加藤征三
- 生物資源学部長 | 天野秀臣
- | 司会 | 理事・副学長 | 森野捷輔

02-05

[RESEARCH FRONT 1]

民間主体の「公共性」を支える
新たな担い手づくり

- 人文学部教授 | 麻野雅子

06-07

[RESEARCH FRONT 2]

世界唯一の継代飼育と
命の重みを伝える教育

- 教育学部教授 | 後藤太郎

08-09

[RESEARCH FRONT 3]

血栓症の急増に歯止めをかける
国際賞受賞の研究

- 大学院医学系研究科教授
生命科学支援センター長 | 鈴木宏治

10-11

[RESEARCH FRONT 4]

地球と人類の危機を救う
未来エネルギー・コミュニティの成立工学

- 工学部教授 | 加藤征三

12-13

[CLOSE-UP Interview]

ガン予防の研究成果を
多くの人々に伝えたい

- 生物資源学部教授 | 田口 寛

14-15

[TOPICS]

日本建築学会賞(論文賞)を受賞
「国際血栓止血学会賞」を受賞

2005年6月～12月
三重大学の主な出来事

16



総合力を発揮して 未来に向かって輝く道へ

理事・副学長(総務・企画・評価担当)
渡邊悌爾

国立大学法人への移行は、少子化に伴う大学全入時代の到来と相まって、厳しい競争的環境への大転換をもたらしつつあります。一方で、それは地域圏大学として積み重ねてきた実績を活かしつつ、地域に根ざし世界に誇れる独自性豊かな、「輝く大学づくり」のチャンスでもあります。

国立総合大学としての三重大学の使命は、第一に教育による優れた人材の輩出を通じて人類社会の発展に寄与することであり、第二に未来を先取りする研究成果の創造によって、国内はもとより世界の持続的な発展のために貢献することです。さらに近年では、地域や地球規模の課題解決への貢献が、地域社会の重要なパートナーとして大学に強く求められるようになりました。なぜなら、21世紀という世界的な大競争時代においては、大学からの知的情報発信が戦略的に地域の優位性を左右するほどの重要性を持ちつつあるからです。

しかし、教育・研究・社会貢献などの活動は個々別々の事柄でなく、高度に相互依存の関係にあることを忘れてはならないでしょう。優れた研究活動の裏付けなくして教育の質的なレベルアップがあり得ないことは明らかです。また、グローバル社会にあっては、行政も地域の企業も規模の大小に関わりなく、未来を先取りした先端的な学術研究情報を求めています。もちろん、地域社会から期待され、支えられてきた三重大学が今後とも輝く道は、都市圏の大規模大学とは違った方向にこそ拓かれることを肝に銘じなければならないでしょう。今後も強まるであろう財政制約の中、地方に立地する中規模大学が勝ち残っていくためには、縦割りの狭い研究領域を超え、横断的な総合力を発揮できる研究拠点づくりこそが指向されなければなりません。

三重大学には、個々の研究者や部局が同一キャンパスに集結し、総合大学としての輝く可能性が秘められています。それを具現化する方向にこそ、未来に向かって輝く道が拓かれるのではないのでしょうか？

わたなべていじ
経済学修士
専門分野は、経済政策・地域経済
1945年生まれ

